

経営発達支援計画 平成28年度 第1回評価会議結果報告

開催日時：平成28年5月24日（火）16:00～18:00

場 所：浜松商工会議所 4階 401会議室

出席者：（委員長） 佐藤洋一：浜松市産業部長

敬称略 （委員） 高林伸慈：静岡県信用保証協会常務理事

大沢政久：静岡縁中小企業診断士協会副会長

豊田人史：東海税理士会浜松西支部長

渡瀬正治：東海税理士会浜松東支部長

目 的：「経営発達支援計画」に基づいて実施した事業の客観的な評価を行い、平成28年度以降の各事業の見直し等につなげる。

評価期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

評価手法：各評価事項における平成28年度に実施した事業実績について、定量及び定性的観点から4段階で評価する。併せて改善提案等のコメントをいただく。

評価反映：評価委員会からの提言をもとに改善案を検討し、平成28年度の事業計画等に反映する。

事業評価及び改善に関する流れ：



平成 27 年度 浜松商工会議所経営発達支援計画評価会議結果

項目／委員名	総合 評価	委員コメント
1. 地域の経済動向調査に関する こと	A	計画・目標値はクリアされている
2. 経営状況の分析に関する こと	B	初年度として概ね順調な進捗である 簡易経営分析ツールは結果を元に課題と方策へ結びつけるように
3. 事業計画策定支援に関する こと	B	専門家派遣などのツールの活用に取り組まれたい 工夫が必要である。企業負担を多くしても回数を増やすべき
4. 事業計画策定後の実施支援 に関する こと	C	今後定着化させるために重点的に取り組まれたい 創業者のフォロー体制を仕組み化して欲しい ここが一番重要。いくら分析ができてでも実行ができなければ・・・
5. 需要動向調査に関する こと	B	分析ツールの普及活用等に取り組まれたい GISの活用を積極的に勧めて欲しい
6. 新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	B	小規模工業事業者へのサポートをきめ細かに行われたい この部分は会議所としても一生懸命取り組んでいかなければならない 項目である 商業と工業のビジネスマッチングを増やしていくことが課題である
7. 地域経済の活性化に資する 取組	A	観光・地域プラントの振興・発展に引き続きご尽力をお願いしたい 工業のアプローチは研究すべき。 やらまいかショップ→やらまいかブースにしたらどうか 楽器の町であることをアピールできる音楽関連イベントをもっと積極的にやっても良いと思う
8. 他の支援機関との連携を通じた 支援ノウハウ等の情報交換に 関する こと	A	地域の特性を生かした各機関との連絡強化に取り組まれたい
9. 経営指導員等の支援能力の 向上の仕組み	A	着実な成果が蓄積されるよう引き続き取組まれたい 企業の改善・再生の現場へ診断士と動向してはどうか
10. 支援ノウハウ等を組織内で 共有する体制	B	風通しのよい組織体制づくりにご努力を 指導員それぞれが専門領域をもったらどうか

- A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～70%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

■全体を通してのコメント

- ・事業ごとに何をやってどのような効果があったかプロセスを評価することが大事。
- ・平成 28 年度からスタートする事業が多く見受けられるので、確実に実施するように。

■今後の予定

- ・評価会議の結果を受けて、平成 28 年度事業を見直し改善していく。
- ・平成 28 年度からスタートする事業については計画的に実施していく。
- ・「4. 事業計画策定後の実施支援に関すること」については、特にフォローアップをきめ細やかに行う。

■参考 関東経済産業局への報告書（平成 28 年 5 月 31 日提出）

名称	浜松商工会議所(静岡県)	
	経営発達支援事業に従事した職員数	39名
※「平成27年度経営発達支援計画実施状況調査 回答要領」を参照の上、入力してください。		
項目等	実施状況等	計画中の目標値
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】	A	
①地域経済動向調査件数	5件	5件
2. 経営状況の分析に関すること【指針①】	B	
②小規模事業者の基礎データを把握している事業者数	10,385者	—
③経営状況分析事業者数	279者	180者
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】	B	
④事業計画策定事業者数	187者	140者
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】	C	
⑤フォローアップ実施事業者数	242者	270者
⑥フォローアップ延べ回数	335回	1,080回
5. 需要動向調査に関すること【指針③】	B	
⑦需要動向調査件数	195件	160件
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】	B	
⑧展示会・商談会出展支援事業者数	86者	97者
⑨販路開拓支援事業者数(⑧を除く。)	85者	56者
⑩新たな需要を開拓した小規模事業者数	57者	47者
7. 地域経済の活性化に資する取組	A	
⑪地域経済活性化に関する関係機関との協議実施件数	24件	—
⑫地域経済活性化に資するイベント開催件数	6件	—
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	A	
9. 経営指導員等の支援能力の向上の仕組み	A	
10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	B	

※「実績状況等の列」は平成 28 年 5 月 24 日に開催された評価会議の結果を基に判定。

※ ①～⑫までの各項目は、1. ～7. までの各項目を評価するにあたっての指標のうち、代表的な指標に限定しているため、この①～⑫までの達成度合いが、1. ～7. までの達成度合いと同一になるとは限りません。

A：目標を達成することができた。(100%以上)

B：目標を概ね達成することができた。(80%～99%)

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)

D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)